

## S1V3F マニュアル 正誤表

項目 SPI の通信速度に関する制限			
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	8.2.1 SPI インターフェイス	29
<p>(誤)</p> <p>SPIインターフェイスの端子構成とホストとの接続は、表6.3と図6.3を参照してください。 本SPIインターフェイスは、#NSCSSをLow固定にしても使用できます。</p>			
<p>(正)</p> <p>SPIインターフェイスの端子構成とホストとの接続は、表6.3と図6.3を参照してください。 本SPIインターフェイスは、#NSCSSをLow固定にしても使用できます。</p> <p>注意事項：メッセージのSCKSに関する制約:</p> <p>以下のメッセージを送信する場合、SCKSを150kHz以上に設定して使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ISC_RESET_REQ</li><li>• ISC_SLEEP_ENTRY_REQ</li><li>• ISC_FLASH_PROGRAM_REQ:WriteFlash</li><li>• ISC_FLASH_PROGRAM_REQ:WriteSettingsArea</li><li>• ISC_FLASH_PROGRAM_STATUS_IND</li></ul> <p>以下のメッセージを送信する場合、SCKSを350kHz以上に設定して使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ISC_SOUND_RECORD_START_REQ</li></ul>			

## S1V3F マニュアル 正誤表

項目 音声録音機能の最大録音データサイズ			
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	7.2.1 概要	24
<p>(誤)</p> <p>本ICは、マイクからの入力音声をICに内蔵の12-bit ADCを使用してPCMデータに変換し、外付けフラッシュメモリに格納することができます。</p> <p>録音する音声フォーマットは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• PCM (非圧縮フォーマット)</li><li>• サンプリング周波数: 15.625 kHz</li><li>• 量子化ビット数: 16 bit</li><li>• 最大録音データサイズ: 16Mバイト (64Kバイトステップ)</li></ul>			
<p>(正)</p> <p>本ICは、マイクからの入力音声をICに内蔵の12-bit ADCを使用してPCMデータに変換し、外付けフラッシュメモリに格納することができます。</p> <p>録音する音声フォーマットは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• PCM (非圧縮フォーマット)</li><li>• サンプリング周波数: 15.625 kHz</li><li>• 量子化ビット数: 16 bit</li><li>• 最大録音データサイズ: <b>640Kバイト</b><del>16Mバイト</del> (64Kバイトステップ)</li></ul>			

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	8.7 音声録音機能	62

(誤)

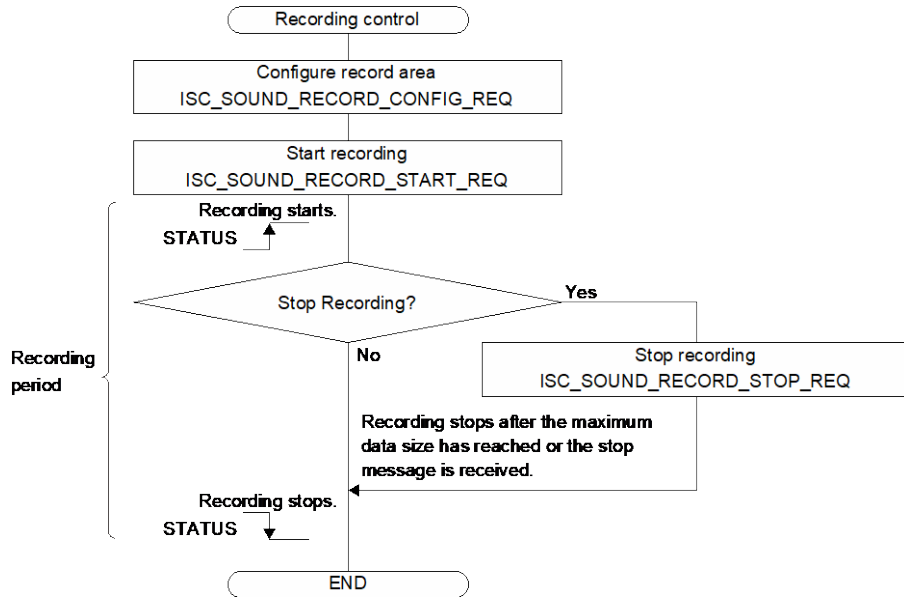
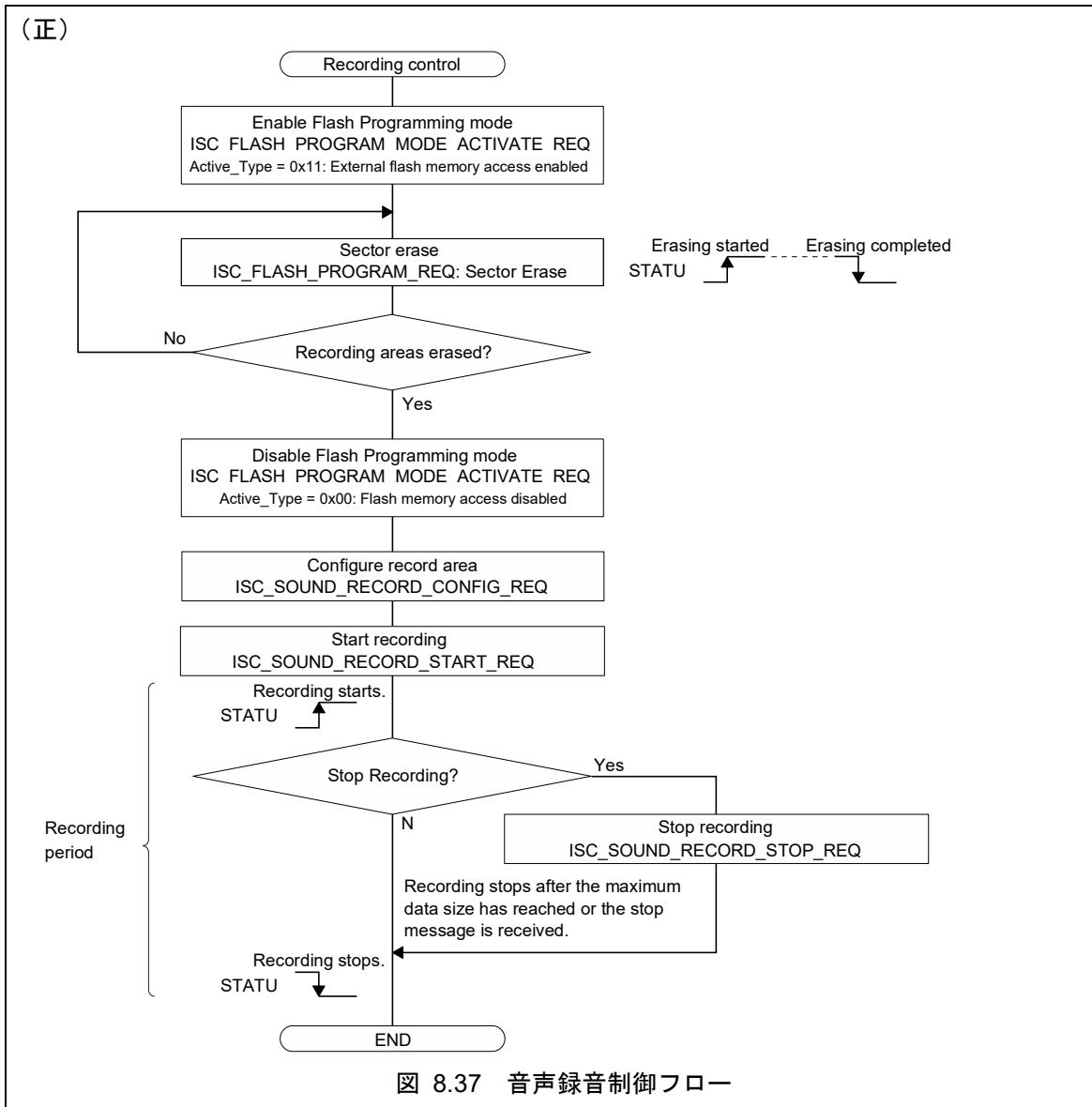


図 8.37 音声録音制御フロー



対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	8.11.2 REQ メッセージ	77

(誤)

#### ISC\_SOUND\_RECORD\_CONFIG\_REQ

通信方向	バイトNo.	フィールド	値	説明
Host → S1V	0	Msg_ID	0x14	ISC_SOUND_RECORD_CONFIG_REQ 録音領域を設定します。
	1	Rec_Start_Addr[7:0]	<address[7:0]>	録音データ先頭アドレス
	2	Rec_Start_Addr[15:8]	<address[15:8]>	外付けフラッシュメモリ内の64Kバイト境界アドレス
	3	Rec_Start_Addr[23:16]	<address[23:16]>	
	4	Rec_Start_Addr[31:24]	<address[31:24]>	
	5	Max_Rec_Size[7:0]	<size[7:0]>	最大録音データサイズ (64Kバイト単位)
	6	Max_Rec_Size[15:8]	<size[15:8]>	
	7	CRC	<CRC>	CRC値
S1V → Host	0	Receive_Status	<status>	受信ステータスを返す応答バイト

(正)

#### ISC\_SOUND\_RECORD\_CONFIG\_REQ

通信方向	バイトNo.	フィールド	値	説明
Host → S1V	0	Msg_ID	0x14	ISC_SOUND_RECORD_CONFIG_REQ 録音領域を設定します。
	1	Rec_Start_Addr[7:0]	<address[7:0]>	録音データ先頭アドレス
	2	Rec_Start_Addr[15:8]	<address[15:8]>	外付けフラッシュメモリ内の64Kバイト境界アドレス
	3	Rec_Start_Addr[23:16]	<address[23:16]>	
	4	Rec_Start_Addr[31:24]	<address[31:24]>	
	5	Max_Rec_Size[7:0]	<size[7:0]>	最大録音データサイズ (64Kバイト単位)
	6	Max_Rec_Size[15:8]	<size[15:8]>	
	7	CRC	<CRC>	CRC値
S1V → Host	0	Receive_Status	<status>	受信ステータスを返す応答バイト

注：録音データの格納領域が1Mバイト境界アドレスを跨ぐような設定はできません。

例えば、先頭アドレスが0x0F 0000でデータサイズが128KBの場合、録音データの終端アドレスが0x10 FFFFとなり、1Mバイト境界を跨ぎ、正常に動作しませんので、ご注意ください。

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.1 パラメーター一覧	88

(誤)

バイト位置	パラメータ名	バイト数	説明	設定可能値 / 範囲	備考
124	IntSoundDataSize	4	内蔵フラッシュメモリ内の音声ROMデータサイズ	S1V3F351: 0-0x10000 S1V3F352: 0-0x28000	[byte]
128	ExtSoundDataStartAddr	4	外付けフラッシュメモリ内の音声ROMデータ開始アドレス	0-0xF00000	[byte], 0x100000 (1 MB) steps
132	ExtSoundDataSize	4	外付けフラッシュメモリ内の音声ROMデータサイズ	0-0x1000000	[byte]
136	ExtFlsRecordDataStartAddr	4	外付けフラッシュメモリに保存する録音データの先頭アドレス	0-0xF00000	[byte], 0x100000 (1 MB) steps
140	ExtFlsRecordDataMaxSize	2	外付けフラッシュメモリに保存する録音データの最大サイズ	0-0xFF	x64K [byte]

(正)

バイト位置	パラメータ名	バイト数	説明	設定可能値 / 範囲	備考
124	IntSoundDataSize	4	内蔵フラッシュメモリ内の音声ROMデータサイズ	S1V3F351: 0-0x10000 S1V3F352: 0-0x28000	[byte]
128	ExtSoundDataStartAddr	4	外付けフラッシュメモリ内の音声ROMデータ開始アドレス	0-0xF00000	[byte], 0x100000 (1 MB) steps
132	ExtSoundDataSize	4	外付けフラッシュメモリ内の音声ROMデータサイズ	0-0x1000000	[byte]
136	ExtFlsRecordDataStartAddr	4	外付けフラッシュメモリに保存する録音データの先頭アドレス	0-0xF00000	[byte], 0x100000 (1 MB) steps
140	ExtFlsRecordDataMaxSize	2	外付けフラッシュメモリに保存する録音データの最大サイズ	<del>0-0xFF</del> 0-10	x64K [byte]

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ	
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.5 音声録音設定パラメータ	99	
(誤)				
表 9.25 音声録音設定パラメータ				
パラメータ名	内容	バイト数	設定可能値	単位
ExtFlsRecordDataStartAddr	録音データの先頭アドレス	4	0x000000–0xF00000 (0x100000 steps)	–
ExtFlsRecordDataMaxSize	録音データの最大サイズ	2	0x00–0xFF	x64Kバイト
(正)				
表 9.25 音声録音設定パラメータ				
パラメータ名	内容	バイト数	設定可能値	単位
ExtFlsRecordDataStartAddr	録音データの先頭アドレス	4	0x000000–0xF00000 (0x100000 steps)	–
ExtFlsRecordDataMaxSize	録音データの最大サイズ	2	<del>0x00–0xFF</del> 0x00–0x0A (0-10)	x64Kバイト

## S1V3F マニュアル 正誤表

項目 スタンドアロンモード音声再生時のリピート回数			
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	1.1 特長	1
(誤)			
<b>表 1.1 特長</b>			
<b>音声処理機能</b>			
音声ミキシング	2チャンネルミキシング再生 (例. Ch.0: 音声, Ch.1: BGM)		
音声再生速度変換機能	75% ~ 125% (5%ステップ), Ch.0のみサポート		
音声再生ピッチ変換機能	75% ~ 125% (5%ステップ), Ch.0のみサポート	-	
トーン生成機能	最大4種類のトーン周波数を組み合わせたパターントーン出力が可能		
音声データプロテクト	利用可能		
リピート再生	1 ~ 254回または無限リピート		
音量設定	0 dB ~ -63 dB (0.5 dBステップ) または無音		
音声録音機能	外付けQSPIフラッシュメモリ接続時のみ使用可能		
(正)			
<b>表 1.1 特長</b>			
<b>音声処理機能</b>			
音声ミキシング	2チャンネルミキシング再生 (例. Ch.0: 音声, Ch.1: BGM)		
音声再生速度変換機能	75% ~ 125% (5%ステップ), Ch.0のみサポート		
音声再生ピッチ変換機能	75% ~ 125% (5%ステップ), Ch.0のみサポート	-	
トーン生成機能	最大4種類のトーン周波数を組み合わせたパターントーン出力が可能		
音声データプロテクト	利用可能		
リピート再生	1 ~ 254回または無限リピート <b>*スタンドアロンモードの音声再生時のみ 1 ~ 127回</b>		
音量設定	0 dB ~ -63 dB (0.5 dBステップ) または無音		
音声録音機能	外付けQSPIフラッシュメモリ接続時のみ使用可能		



対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.1 パラメーター一覧	87

(誤)

表 9.1 パラメーター一覧

バイト位置	パラメータ名	バイト数	説明	設定可能値 / 範囲	備考
0	Keycode <sup>(*)</sup>	4	キーコード値	0-0xFFFFFFFF	-
4	ManufacturerId	4	パラメータ情報の存在確認に使用する製造者ID	0x30525345	パラメータ情報存在識別用タグ
...	...	...	...	...	...
64	StndalnRepeatCountCh0	15	Ch.0 各センテンス番号の再生リピート回数	0x00, 0x01: 1回 0x02-0xFE: 2-254回 0xFF: エンドレス	x15 params
79	Reserved	1	-	-	-
80	StndalnRepeatCountCh1	15	Ch.1 各センテンス番号の再生リピート回数	0x00, 0x01: 1回 0x02-0xFE: 2-254回 0xFF: エンドレス	x15 params
95	Reserved	1	-	-	-

(正)

表 9.1 パラメーター一覧

バイト位置	パラメータ名	バイト数	説明	設定可能値 / 範囲	備考
0	Keycode <sup>(*)</sup>	4	キーコード値	0-0xFFFFFFFF	-
4	ManufacturerId	4	パラメータ情報の存在確認に使用する製造者ID	0x30525345	パラメータ情報存在識別用タグ
...	...	...	...	...	...
64	StndalnRepeatCountCh0	15	Ch.0 各センテンス番号の再生リピート回数	センテンス再生: 0x00, 0x01: 1回 0x02-0x7F: 2-127回 トーンパターン再生: 0x00, 0x01: 1回 0x02-0xFE: 2-254回 0xFF: エンドレス	x15 params
79	Reserved	1	-	-	-
80	StndalnRepeatCountCh1	15	Ch.1 各センテンス番号の再生リピート回数	センテンス再生: 0x00, 0x01: 1回 0x02-0x7F: 2-127回 トーンパターン再生: 0x00, 0x01: 1回 0x02-0xFE: 2-254回 0xFF: エンドレス	x15 params
95	Reserved	1	-	-	-

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.3 音声再生設定パラメータ	95

(誤)

表 9.18 再生回数設定パラメータ

パラメータ名	内容	バイト数	設定可能値	単位
StndalnCh0RepeatCount[0]	#CH0_PLAY[3:0]入力端子に割り当てられたセンテンス番号 / トーンパターン番号の再生回数	1	0x00-0xFF	回
StndalnCh0RepeatCount[1]		1	0x00-0xFF	回
StndalnCh0RepeatCount[2]		1	0x00-0xFF	回
...		...	...	...
StndalnCh0RepeatCount[14]		1	0x00-0xFF	回
StndalnCh1RepeatCount[0]	#CH1_PLAY[3:0]入力端子に割り当てられたセンテンス番号 / トーンパターン番号の再生回数	1	0x00-0xFF	回
StndalnCh1RepeatCount[1]		1	0x00-0xFF	回
StndalnCh1RepeatCount[2]		1	0x00-0xFF	回
...		...	...	...
StndalnCh1RepeatCount[14]		1	0x00-0xFF	回

(正)

表 9.18 再生回数設定パラメータ

パラメータ名	内容	バイト数	設定可能値	単位
StndalnCh0RepeatCount[0]	#CH0_PLAY[3:0]入力端子に割り当てられたセンテンス番号 / トーンパターン番号の再生回数	1	0x00-0x7F(センテンス再生) 0x00-0xFF(トーンパターン再生)	回
StndalnCh0RepeatCount[1]		1	0x00-0x7F(センテンス再生) 0x00-0xFF(トーンパターン再生)	回
StndalnCh0RepeatCount[2]		1	0x00-0x7F(センテンス再生) 0x00-0xFF(トーンパターン再生)	回
...		...	...	...
StndalnCh0RepeatCount[14]		1	0x00-0x7F(センテンス再生) 0x00-0xFF(トーンパターン再生)	回
StndalnCh1RepeatCount[0]	#CH1_PLAY[3:0]入力端子に割り当てられたセンテンス番号 / トーンパターン番号の再生回数	1	0x00-0x7F(センテンス再生) 0x00-0xFF(トーンパターン再生)	回
StndalnCh1RepeatCount[1]		1	0x00-0x7F(センテンス再生) 0x00-0xFF(トーンパターン再生)	回
StndalnCh1RepeatCount[2]		1	0x00-0x7F(センテンス再生) 0x00-0xFF(トーンパターン再生)	回
...		...	...	...
StndalnCh1RepeatCount[14]		1	0x00-0x7F(センテンス再生) 0x00-0xFF(トーンパターン再生)	回

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.3 音声再生設定パラメータ	95

(誤)

表 9.19 再生回数の指定

StdInChxRepeatCount	再生回数
0xFF	エンドレス再生
0xFE	254回
0x7E	253回
...	...
0x03	3回
0x02	2回
0x01, 0x00	1回 (リピートなし)

(正)

表 9.19 再生回数の指定

StdInChxRepeatCount	再生回数	
	センテンス再生	トーンパターン再生
0xFF	設定禁止	エンドレス再生
0xFE		254回
<del>0x7E</del> 0xFD		253回
...		...
0x80		128回
0x7F		127回
0x7E		126回
...		...
0x03		3回
0x02		2回
0x01, 0x00		1回 (リピートなし)

## S1V3F マニュアル 正誤表

項目 ピッチ変換機能使用時の制限			
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	1.1 特長	1
(誤)			
表 1.1 特長			
音声処理機能			
音声ミキシング	2チャンネルミキシング再生 (例. Ch.0: 音声, Ch.1: BGM)		
音声再生速度変換機能	75% ~ 125% (5%ステップ), Ch.0のみサポート		
音声再生ピッチ変換機能	75% ~ 125% (5%ステップ), Ch.0のみサポート	-	
トーン生成機能	最大4種類のトーン周波数を組み合わせたパターントーン出力が可能		
音声データプロテクト	利用可能		
リピート再生	1 ~ 254回または無限リピート		
音量設定	0 dB ~ -63 dB (0.5 dBステップ) または無音		
音声録音機能	外付けQSPIフラッシュメモリ接続時のみ使用可能		
(正)			
表 1.1 特長			
音声処理機能			
音声ミキシング	2チャンネルミキシング再生 (例. Ch.0: 音声, Ch.1: BGM)		
音声再生速度変換機能	75% ~ 125% (5%ステップ), Ch.0のみサポート		
音声再生ピッチ変換機能	<del>75% ~ 125% (5%ステップ),</del> <u>90% ~ 110% (5%ステップ),</u> Ch.0のみサポート <u>ミキシングとの併用不可</u>	-	
トーン生成機能	最大4種類のトーン周波数を組み合わせたパターントーン出力が可能		
音声データプロテクト	利用可能		
リピート再生	1 ~ 254回または無限リピート		
音量設定	0 dB ~ -63 dB (0.5 dBステップ) または無音		
音声録音機能	外付けQSPIフラッシュメモリ接続時のみ使用可能		

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	7.1.1 概要	20
<p>(誤)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>再生ピッチ変換 (S1V3F351 CH.0のみ) *1<ul style="list-style-type: none"><li>再生ピッチ変換のみ使用する場合 標準ピッチ100%を基準にして、75% (低い) から125% (高い) の範囲内で設定可能 (5%ステップ)</li><li>再生速度変換と組み合わせて使用する場合 標準ピッチ100%を基準にして、90% (低い) から110% (高い) の範囲内で設定可能 (5%ステップ)</li></ul></li></ul>			
<p>(正)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>再生ピッチ変換 (S1V3F351 CH.0のみ、<u>ミキシングとの併用不可</u>) *1<ul style="list-style-type: none"><li><del>再生ピッチ変換のみ使用する場合</del> <del>標準ピッチ100%を基準にして、75% (低い) から125% (高い) の範囲内で設定可能 (5%ステップ)</del></li><li><del>再生速度変換と組み合わせて使用する場合</del> 標準ピッチ100%を基準にして、90% (低い) から110% (高い) の範囲内で設定可能 (5%ステップ)</li></ul></li></ul>			

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	8.5.3 音声再生制御手順	53, 54
<p>(誤)</p> <p><b>音声再生速度 / ピッチの設定</b></p> <p>(1) 再生速度 (話速) の設定 (Ch.0のみ有効)</p> <p>再生速度変換機能は、ISC_SPEED_CONFIG_REQメッセージを送信して設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本ICがアイドル状態であることを確認する (8.5.1節参照)。</li><li>2. ISC_SPEED_CONFIG_REQメッセージを送信する。 Speed_CH0: 再生速度</li></ol> <p>再生速度変換機能を使用しない場合は、Speed_CH0を0x00に設定してください。</p> <p>~~~~~</p> <p>(2) 再生ピッチの設定 (S1V3F351 Ch.0のみ有効)</p> <p>再生ピッチ変換機能を使用する場合は、ISC_PITCH_CONFIG_REQメッセージを送信して設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本ICがアイドル状態であることを確認する (8.5.1節参照)。</li><li>2. ISC_PITCH_CONFIG_REQメッセージを送信する。 Pitch_CH0: 再生ピッチ</li></ol> <p>再生ピッチ変換機能を使用しない場合は、Pitch_CH0を0x00に設定してください。</p>			
<p>(正)</p> <p><b>音声再生速度 / ピッチの設定</b></p> <p>(1) 再生速度 (話速) の設定 (Ch.0のみ有効)</p> <p>再生速度変換機能は、ISC_SPEED_CONFIG_REQメッセージを送信して設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本ICがアイドル状態であることを確認する (8.5.1節参照)。</li><li>2. ISC_SPEED_CONFIG_REQメッセージを送信する。 Speed_CH0: 再生速度</li></ol> <p>再生速度変換機能を使用しない場合は、Speed_CH0を<u>0x64 0x00</u>に設定してください。</p> <p>~~~~~</p> <p>(2) 再生ピッチの設定 (S1V3F351 Ch.0のみ有効、<u>ミキシングとの併用不可</u>)</p> <p>再生ピッチ変換機能を使用する場合は、ISC_PITCH_CONFIG_REQメッセージを送信して設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本ICがアイドル状態であることを確認する (8.5.1節参照)。</li><li>2. ISC_PITCH_CONFIG_REQメッセージを送信する。 Pitch_CH0: 再生ピッチ</li></ol> <p>再生ピッチ変換機能を使用しない場合は、<u>は、または、ミキシング再生機能を使用する場合は</u>、Pitch_CH0を0x00に設定してください。</p>			

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	8.5.3 音声再生制御手順	54

(誤)

表 8.14 再生ピッチの設定 (速度変換を行わない場合\*)

Pitch_CH0[7:0]	ピッチ	
0x7D	125%	高い ↑  ← 標準ピッチ  ↓ 低い
0x78	120%	
0x73	115%	
0x6E	110%	
0x69	105%	
0x64	100%	
0x5F	95%	
0x5A	90%	
0x55	85%	
0x50	80%	
0x4B	75%	
0x00	再生ピッチ変換無効	
その他	設定禁止	

\* ISC\_SPEED\_CONFIG\_REQメッセージのSpeed\_CH0が0x00の場合

再生速度変換機能と同時に使用する場合は、下表の範囲に制限されます。

(正)

表 8.14 再生ピッチの設定 (速度変換を行わない場合\*)

Pitch_CH0[7:0]	ピッチ	
0x7D	125%	高い ↑  ← 標準ピッチ  ↓ 低い
0x78	120%	
0x73	115%	
0x6E	110%	
0x69	105%	
0x64	100%	
0x5F	95%	
0x5A	90%	
0x55	85%	
0x50	80%	
0x4B	75%	
0x00	再生ピッチ変換無効	
その他	設定禁止	

\* ISC\_SPEED\_CONFIG\_REQメッセージのSpeed\_CH0が0x00の場合

再生速度変換機能と同時に使用する場合は、下表の範囲に制限されます。

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	8.5.3 音声再生制御手順	54

(誤)

表 8.15 再生ピッチの設定 (速度変換を行う場合\*)

Pitch_CH0[7:0]	ピッチ	
0x6E	110%	高い
0x69	105%	↑
0x64	100%	← 標準ピッチ
0x5F	95%	↓
0x5A	90%	低い
0x00	再生ピッチ変換無効	
その他	設定禁止	

\* 0x55 ≤ ISC\_SPEED\_CONFIG\_REQメッセージのSpeed\_CH0 ≤ 0x73の場合

(正)

表 8.15 再生ピッチの設定 ~~(速度変換を行う場合\*)~~

Pitch_CH0[7:0]	ピッチ	
0x6E	110%	高い
0x69	105%	↑
0x64	100%	← 標準ピッチ
0x5F	95%	↓
0x5A	90%	低い
0x00	再生ピッチ変換無効	
その他	設定禁止	

~~\* 0x55 ≤ ISC\_SPEED\_CONFIG\_REQメッセージのSpeed\_CH0 ≤ 0x73の場合~~





対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	8.7 音声録音機能	63
<p>(誤)</p> <p><b>録音音声データの再生</b></p> <p>録音した音声データは以下の手順で再生することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本ICがアイドル状態であることを確認する (8.5.1 節参照)。 ~~~~~</li><li>6. 必要に応じてISC_SPEED_CONFIG_REQメッセージを送信する。 Speed_CH0: 再生速度  再生速度変換機能を使用しない場合は、Speed_CH0を0x00Iに設定してください。</li><li>7. 必要に応じてISC_PITCH_CONFIG_REQメッセージを送信する。(S1V3F351のみ対応) Pitch_CH0: 再生ピッチ  再生ピッチ変換機能を使用しない場合は、Pitch_CH0を0x00Iに設定してください。</li></ol>			
<p>(正)</p> <p><b>録音音声データの再生</b></p> <p>録音した音声データは以下の手順で再生することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本ICがアイドル状態であることを確認する (8.5.1 節参照)。 ~~~~~</li><li>6. 必要に応じてISC_SPEED_CONFIG_REQメッセージを送信する。 Speed_CH0: 再生速度  再生速度変換機能を使用しない場合は、Speed_CH0を<u>0x64 0x00I</u>に設定してください。</li><li>7. 必要に応じてISC_PITCH_CONFIG_REQメッセージを送信する。(S1V3F351のみ対応、<u>ミキシングとの併用不可</u>) Pitch_CH0: 再生ピッチ  再生ピッチ変換機能を使用しない場合は、<u>または、ミキシング再生機能を使用する場合は</u>、Pitch_CH0を0x00Iに設定してください。</li></ol>			

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	8.11.2 REQ メッセージ	73

(誤)

ISC\_PITCH\_CONFIG\_REQ

通信方向	バイトNo.	フィールド	値	説明
Host → S1V	0	Msg_ID	0x08	ISC_PITCH_CONFIG_REQ Ch.0の再生ピッチを指定します。(*1)
	1	Pitch_CH0	<pitch>	CH0 再生ピッチ 0x7D: 125% (*2) 0x78: 120% (*2) 0x73: 115% (*2) 0x6E: 110% 0x69: 105% 0x64: 100% 0x5F: 95% 0x5A: 90% 0x55: 85% (*2) 0x50: 80% (*2) 0x4B: 75% (*2) 0x00: ピッチ変換機能無効 その他: 設定禁止
	2	CRC	<CRC>	CRC値
S1V → Host	0	Receive_Status	<status>	受信ステータスを返す応答バイト

\*1: 再生ピッチはS1V3F351のCh.0でのみ、また再生停止時にのみ設定可能です。本メッセージは、S1V3F352では使用できません。

\*2: ISC\_SPEED\_CONFIG\_REQメッセージでSpeed\_Ch0 = 0x00設定時以外は指定できません。(表 8.16参照)

(正)

ISC\_PITCH\_CONFIG\_REQ

通信方向	バイトNo.	フィールド	値	説明
Host → S1V	0	Msg_ID	0x08	ISC_PITCH_CONFIG_REQ Ch.0の再生ピッチを指定します。(*1, *2)
	1	Pitch_CH0	<pitch>	CH0 再生ピッチ <del>0x7D: 125% (*2)</del> <del>0x78: 120% (*2)</del> <del>0x73: 115% (*2)</del> 0x6E: 110% 0x69: 105% 0x64: 100% 0x5F: 95% 0x5A: 90% <del>0x55: 85% (*2)</del> <del>0x50: 80% (*2)</del> <del>0x4B: 75% (*2)</del> 0x00: ピッチ変換機能無効 その他: 設定禁止
	2	CRC	<CRC>	CRC値
S1V → Host	0	Receive_Status	<status>	受信ステータスを返す応答バイト

\*1: 再生ピッチはS1V3F351のCh.0でのみ、また再生停止時にのみ設定可能です。本メッセージは、S1V3F352では使用できません。

\*2: ~~ISC\_SPEED\_CONFIG\_REQメッセージでSpeed\_Ch0 = 0x00設定時以外は指定できません。(表 8.16参照)~~

\*2: 再生ピッチ変換はミキシングとの併用はできません。

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.1 パラメーター一覧	87

(誤)

表 9.1 パラメーター一覧

バイト位置	パラメータ名	バイト数	説明	設定可能値 / 範囲	備考
0	Keycode <sup>(*)</sup>	4	キーコード値	0-0xFFFFFFFF	-
4	ManufacturerId	4	パラメータ情報の存在確認に使用する製造者ID	0x30525345	パラメータ情報存在識別用タグ
...	...	...	...	...	...
112	StndalnSoundSpeedLevelList	7	各再生速度レベルの速度設定値	0x4B-0x7D ピッチ変換併用時は0x55-0x73	x7 params
119	StndalnSoundPitchLevelList	5	各再生ピッチレベルのピッチ設定値	0x4B-0x7D 速度変換併用時は0x5A-0x6E	x5 params

(正)

表 9.1 パラメーター一覧

バイト位置	パラメータ名	バイト数	説明	設定可能値 / 範囲	備考
0	Keycode <sup>(*)</sup>	4	キーコード値	0-0xFFFFFFFF	-
4	ManufacturerId	4	パラメータ情報の存在確認に使用する製造者ID	0x30525345	パラメータ情報存在識別用タグ
...	...	...	...	...	...
112	StndalnSoundSpeedLevelList	7	各再生速度レベルの速度設定値	0x4B-0x7D ピッチ変換併用時は0x55-0x73	x7 params
119	StndalnSoundPitchLevelList	5	各再生ピッチレベルのピッチ設定値	<del>0x4B-0x7D</del> 速度変換併用時は0x5A-0x6E	x5 params



対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.3 音声再生設定パラメータ	93
<p>(誤)</p> <p>設定例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>速度変換のみ</li> </ul> <p>レベル数: StndalnSoundSpeedSteps = 7</p> <p>各レベルの速度: StndalnSoundSpeedLevelList[0] = 0x4B (75%)  StndalnSoundSpeedLevelList[1] = 0x55 (85%)  StndalnSoundSpeedLevelList[2] = 0x5F (95%)  StndalnSoundSpeedLevelList[3] = 0x64 (100%)  StndalnSoundSpeedLevelList[4] = 0x69 (105%)  StndalnSoundSpeedLevelList[5] = 0x73 (115%)  StndalnSoundSpeedLevelList[6] = 0x7D (125%)</p> <p>本IC起動時の速度: StndalnDefaultVolumeLevel = 3 (100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>速度とピッチ同時変換 (S1V3F351)</li> </ul> <p>レベル数: StndalnSoundSpeedSteps = 7</p> <p>各レベルの速度: StndalnSoundSpeedLevelList[0] = 0x55 (85%)  StndalnSoundSpeedLevelList[1] = 0x5A (90%)  StndalnSoundSpeedLevelList[2] = 0x5F (95%)  StndalnSoundSpeedLevelList[3] = 0x64 (100%)  StndalnSoundSpeedLevelList[4] = 0x69 (105%)  StndalnSoundSpeedLevelList[5] = 0x6E (110%)  StndalnSoundSpeedLevelList[6] = 0x73 (115%)</p> <p>本IC起動時の速度: StndalnDefaultVolumeLevel = 3 (100%)</p> <p>(正)</p> <p>設定例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>速度変換のみ</li> </ul> <p>レベル数: StndalnSoundSpeedSteps = 7</p> <p>各レベルの速度: StndalnSoundSpeedLevelList[0] = 0x4B (75%)  StndalnSoundSpeedLevelList[1] = 0x55 (85%)  StndalnSoundSpeedLevelList[2] = 0x5F (95%)  StndalnSoundSpeedLevelList[3] = 0x64 (100%)  StndalnSoundSpeedLevelList[4] = 0x69 (105%)  StndalnSoundSpeedLevelList[5] = 0x73 (115%)  StndalnSoundSpeedLevelList[6] = 0x7D (125%)</p> <p>本IC起動時の速度: <del>StndalnDefaultSpeedLevel</del> <del>StndalnDefaultVolumeLevel</del> = 3 (100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>速度とピッチ同時変換 (S1V3F351)</li> </ul> <p>レベル数: StndalnSoundSpeedSteps = 7</p> <p>各レベルの速度: StndalnSoundSpeedLevelList[0] = 0x55 (85%)  StndalnSoundSpeedLevelList[1] = 0x5A (90%)  StndalnSoundSpeedLevelList[2] = 0x5F (95%)</p>			

StndalnSoundSpeedLevelList[3] = 0x64 (100%)  
StndalnSoundSpeedLevelList[4] = 0x69 (105%)  
StndalnSoundSpeedLevelList[5] = 0x6E (110%)  
StndalnSoundSpeedLevelList[6] = 0x73 (115%)

本IC起動時の速度: StndalnDefaultSpeedLevel ~~StndalnDefaultVolumeLevel~~ = 3 (100%)

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.3 音声再生設定パラメータ	94

(誤)

再生ピッチ設定 (S1V3F351 のみ)

表 9.15 再生ピッチ設定パラメータ

パラメータ名	内容	バイト数	設定可能値	単位
StndalnSoundPitchSteps	再生ピッチレベル数	1	1-5	レベル
StndalnSoundPitchLevelList[0]	各レベルに割り当てるピッチ設定値	1	0x4B-0x7D *1	%
StndalnSoundPitchLevelList[1]		1	0x4B-0x7D *1	%
StndalnSoundPitchLevelList[2]		1	0x4B-0x7D *1	%
...		...	...	...
StndalnSoundPitchLevelList[4]		1	0x4B-0x7D *1	%
StndalnDefaultPitchLevel	本IC起動時の再生ピッチレベル	1	0-4	レベル

\*1: 再生速度変換併用時は0x5A-0x6E

S1V3F351 Ch.0は、再生ピッチを11レベル（再生速度変換併用時は5レベル）に設定可能です。スタンドアロンモードでは、入力端子で切り替える再生ピッチレベルを、この中から最大5レベルまで、これらのパラメータで選択しておきます。

StndalnSoundPitchStepsで使用する再生ピッチレベル数を設定し、StndalnSoundPitchLevelListで各レベルに割り当てる再生ピッチを設定します。

StndalnSoundPitchLevelListは要素番号が0から(StndalnSoundPitchSteps - 1)までの設定が有効で、これを超える設定は無視されます。

StndalnDefaultPitchLevelは、本IC起動時の再生ピッチの初期値をStndalnSoundPitchLevelListの要素番号で指定します。

(正)

再生ピッチ設定 (S1V3F351 のみ)

表 9.15 再生ピッチ設定パラメータ

パラメータ名	内容	バイト数	設定可能値	単位
StndalnSoundPitchSteps	再生ピッチレベル数	1	1-5	レベル
StndalnSoundPitchLevelList[0]	各レベルに割り当てるピッチ設定値	1	<del>0x4B-0x7D</del> *1 <u>0x5A-0x6E</u> *1	%
StndalnSoundPitchLevelList[1]		1	<del>0x4B-0x7D</del> *1 <u>0x5A-0x6E</u> *1	%
StndalnSoundPitchLevelList[2]		1	<del>0x4B-0x7D</del> *1 <u>0x5A-0x6E</u> *1	%
...		...	...	...
StndalnSoundPitchLevelList[4]		1	<del>0x4B-0x7D</del> *1 <u>0x5A-0x6E</u> *1	%
StndalnDefaultPitchLevel	本IC起動時の再生ピッチレベル	1	0-4	レベル

\*1: 再生速度変換併用時は0x5A-0x6E

\*1: ミキシング再生を使用する場合、0x00を設定してください。

S1V3F351 Ch.0は、再生ピッチを5レベル ~~11レベル~~（再生速度変換併用時は5レベル）に設定可能です。スタンドアロンモードでは、入力端子で切り替える再生ピッチレベルを、この中から最大5レベルまで、これらのパラメータで選択しておきます。



StndalnSoundPitchStepsで使用する再生ピッチレベル数を設定し、StndalnSoundPitchLevelListで各レベルに割り当てる再生ピッチを設定します。

StndalnSoundPitchLevelListは要素番号が0から(StndalnSoundPitchSteps - 1)までの設定が有効で、これを超える設定は無視されます。

StndalnDefaultPitchLevelは、本IC起動時の再生ピッチの初期値をStndalnSoundPitchLevelListの要素番号で指定します。

再生ピッチ変換は、Ch.0単体の再生のみ機能し、ミキシング再生では正常に機能しません。スタンドアローンモードでミキシング再生を行う場合、StndalnSoundPitchLevelListのすべてを0x00に設定して使用してください。

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.3 音声再生設定パラメータ	94

(誤)

表 9.16 再生ピッチの設定 (速度変換を行わない場合\*)

StdalnSoundPitchLevelList	ピッチ	
0x7D	125%	高い ↑  ← 標準ピッチ  ↓ 低い
0x78	120%	
0x73	115%	
0x6E	110%	
0x69	105%	
0x64	100%	
0x5F	95%	
0x5A	90%	
0x55	85%	
0x50	80%	
0x4B	75%	
0x00	再生ピッチ変換無効	
その他	設定禁止	

\* StdalnSoundSpeedLevelListが0x00の場合

(正)

表 9.16 再生ピッチの設定 (速度変換を行わない場合\*)

StdalnSoundPitchLevelList	ピッチ	
0x7D	125%	高い ↑  ← 標準ピッチ  ↓ 低い
0x78	120%	
0x73	115%	
0x6E	110%	
0x69	105%	
0x64	100%	
0x5F	95%	
0x5A	90%	
0x55	85%	
0x50	80%	
0x4B	75%	
0x00	再生ピッチ変換無効	
その他	設定禁止	

\* StdalnSoundSpeedLevelListが0x00の場合

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.3 音声再生設定パラメータ	94

(誤)

表 9.17 再生ピッチの設定 (速度変換を行う場合\*)

StndalnSoundPitchLevelList	ピッチ	
0x6E	110%	高い
0x69	105%	↑
0x64	100%	← 標準ピッチ
0x5F	95%	↓
0x5A	90%	低い
0x00	再生ピッチ変換無効	
その他	設定禁止	

\* 0x55 ≤ StndalnSoundSpeedLevelList ≤ 0x73の場合

(正)

表 9.17 再生ピッチの設定 ~~(速度変換を行う場合\*)~~

StndalnSoundPitchLevelList	ピッチ	
0x6E	110%	高い
0x69	105%	↑
0x64	100%	← 標準ピッチ
0x5F	95%	↓
0x5A	90%	低い
0x00	再生ピッチ変換無効	
その他	設定禁止	

~~\* 0x55 ≤ StndalnSoundSpeedLevelList ≤ 0x73の場合~~

~~\*再生ピッチ変換はミキシングとの併用はできません。~~

対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S1V3F351/S1V3F352 テクニカルマニュアル	414466800	9.2.3 音声再生設定パラメータ	95
<p>(誤)</p> <p>設定例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ピッチ変換のみ           <ul style="list-style-type: none"> <li>レベル数: StndalnSoundPitchSteps = 5</li> <li>各レベルのピッチ:               <ul style="list-style-type: none"> <li>StndalnSoundPitchLevelList[0] = 0x55 (85%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[1] = 0x5F (95%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[2] = 0x64 (100%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[3] = 0x73 (115%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[4] = 0x7D (125%)</li> </ul> </li> <li>本IC起動時のピッチ: StndalnDefaultVolumeLevel = 2 (100%)</li> </ul> </li> <li>ピッチと速度同時変換           <ul style="list-style-type: none"> <li>レベル数: StndalnSoundPitchSteps = 5</li> <li>各レベルのピッチ:               <ul style="list-style-type: none"> <li>StndalnSoundPitchLevelList[0] = 0x5A (90%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[1] = 0x5F (95%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[2] = 0x64 (100%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[3] = 0x69 (105%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[4] = 0x6E (110%)</li> </ul> </li> <li>本IC起動時のピッチ: StndalnDefaultVolumeLevel = 2 (100%)</li> </ul> </li> </ul> <p>(正)</p> <p>設定例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><del>ピッチ変換のみ</del> <ul style="list-style-type: none"> <li><del>レベル数: StndalnSoundPitchSteps = 5</del></li> <li><del>各レベルのピッチ:               <ul style="list-style-type: none"> <li><del>StndalnSoundPitchLevelList[0] = 0x55 (85%)</del></li> <li><del>StndalnSoundPitchLevelList[1] = 0x5F (95%)</del></li> <li><del>StndalnSoundPitchLevelList[2] = 0x64 (100%)</del></li> <li><del>StndalnSoundPitchLevelList[3] = 0x73 (115%)</del></li> <li><del>StndalnSoundPitchLevelList[4] = 0x7D (125%)</del></li> </ul> </del></li> <li><del>本IC起動時のピッチ: StndalnDefaultVolumeLevel = 2 (100%)</del></li> </ul> </li> <li><del>ピッチと速度同時変換</del> <ul style="list-style-type: none"> <li>レベル数: StndalnSoundPitchSteps = 5</li> <li>各レベルのピッチ:               <ul style="list-style-type: none"> <li>StndalnSoundPitchLevelList[0] = 0x5A (90%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[1] = 0x5F (95%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[2] = 0x64 (100%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[3] = 0x69 (105%)</li> <li>StndalnSoundPitchLevelList[4] = 0x6E (110%)</li> </ul> </li> <li>本IC起動時のピッチ: <del>StndalnDefaultPitchLevel</del> <del>StndalnDefaultVolumeLevel</del> = 2 (100%)</li> </ul> </li> </ul>			